



子育てを終えて

「ふたば会」



△しっかりミシンを持ち込んで

鷹岡公民館で定例会を持つようになってから9年の「ふたば会」は、老人ホームで使うぞうきんやおむつを縫ったり、市の福祉行事に参加しています。

毎月第2・3水曜日には、いつも5・6人の会員が昼食持参で集まり、古い布を裁つところから仕事が始まります。会員は皆子育てを終えた主婦なので、作業の合い間にはずむ会話には、老後の問題など切実な話題も飛び出します。ボランティア活動だけでなく、気軽な会話の中から皆の声を福祉行政に反映できるよう発展させていく場にしたいと希望は膨らみます。

活動資金は、不用品バザーの収益金を充てています。また年1回、鷹岡婦人会がお手伝いに来てくれ、糸代等の援助もしてくれます。

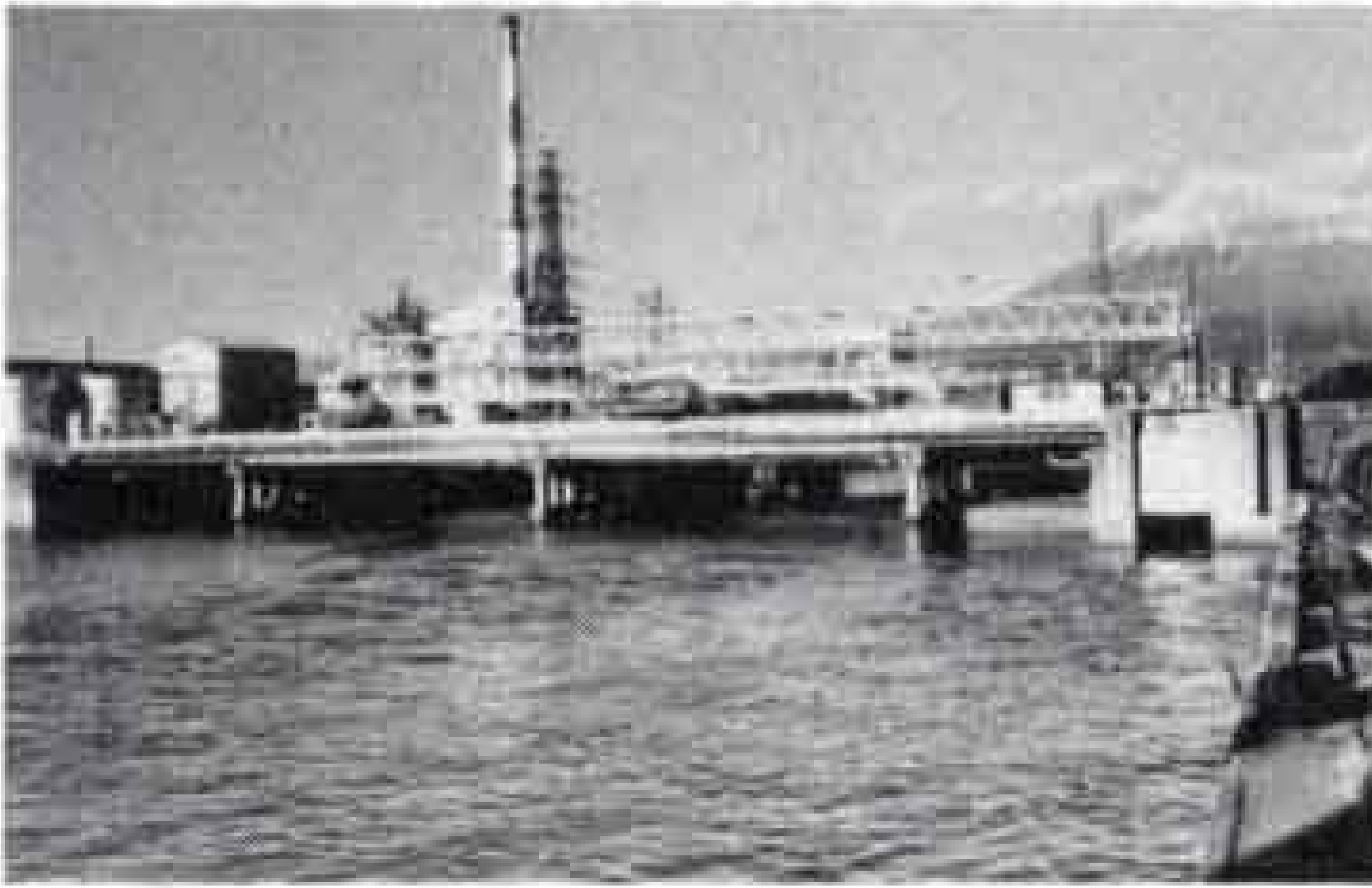
これからも、だれでも気軽に参加でき話し合える、息の長いボランティアを目指したいと思います。

問い合わせ 芝川正子 ☎21-7439

皆さん、お正月いかがでしたか。年をとるごとにお正月の気分を感じなくなってきました。お年玉を出す金額に反比例しているような気がします。さて元旦号の「お年玉プレゼントクイズ」答えは①でした。百通を超える応募をいただきましたが、抽せんで二十人に賞品をお送りしました。

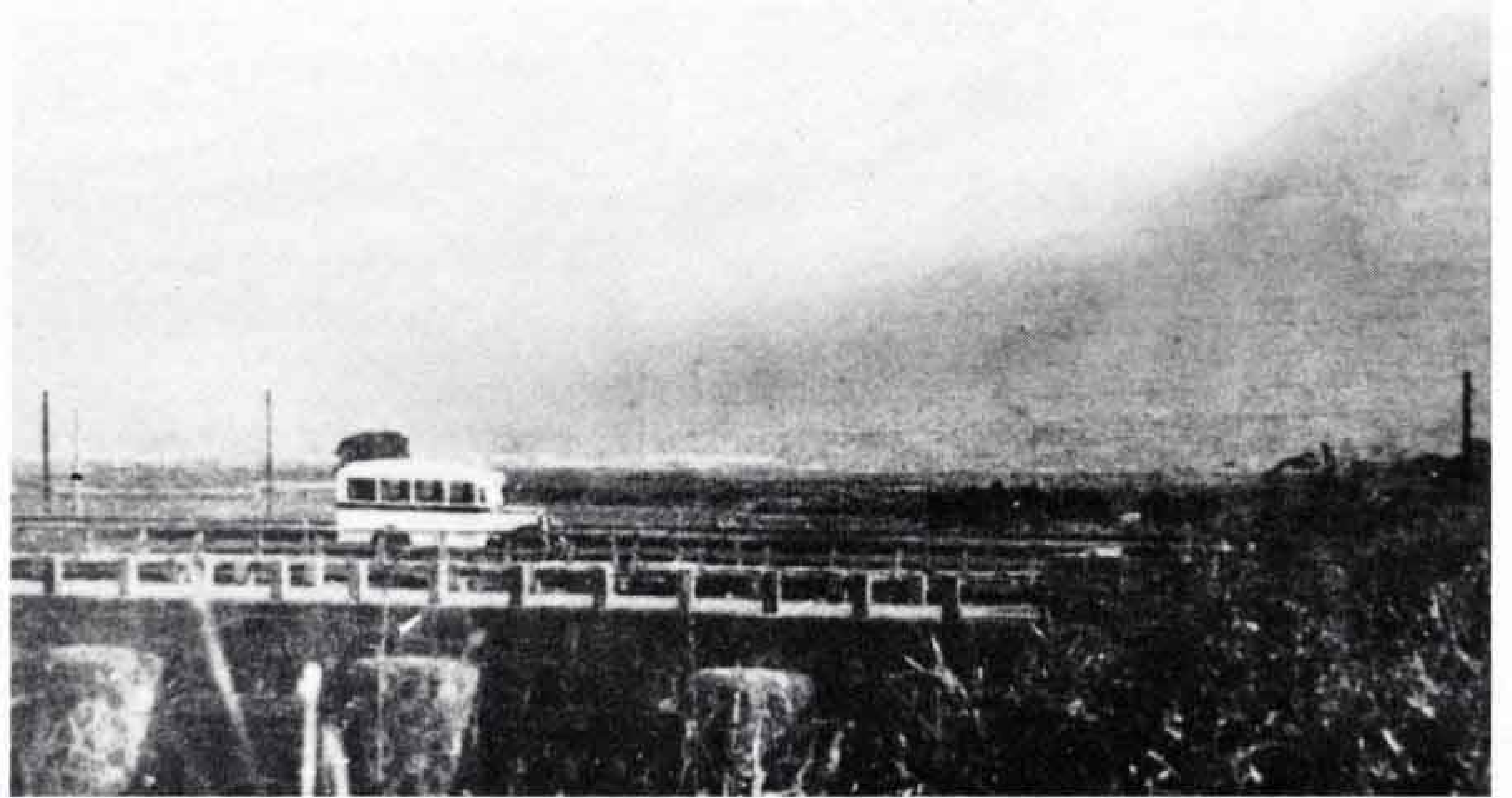
こちら編集室

富士の今と昔 ⑤6



今 沼川橋がかかっています

昔 明治19年から海水が沼川へ逆流するのを防いでいました

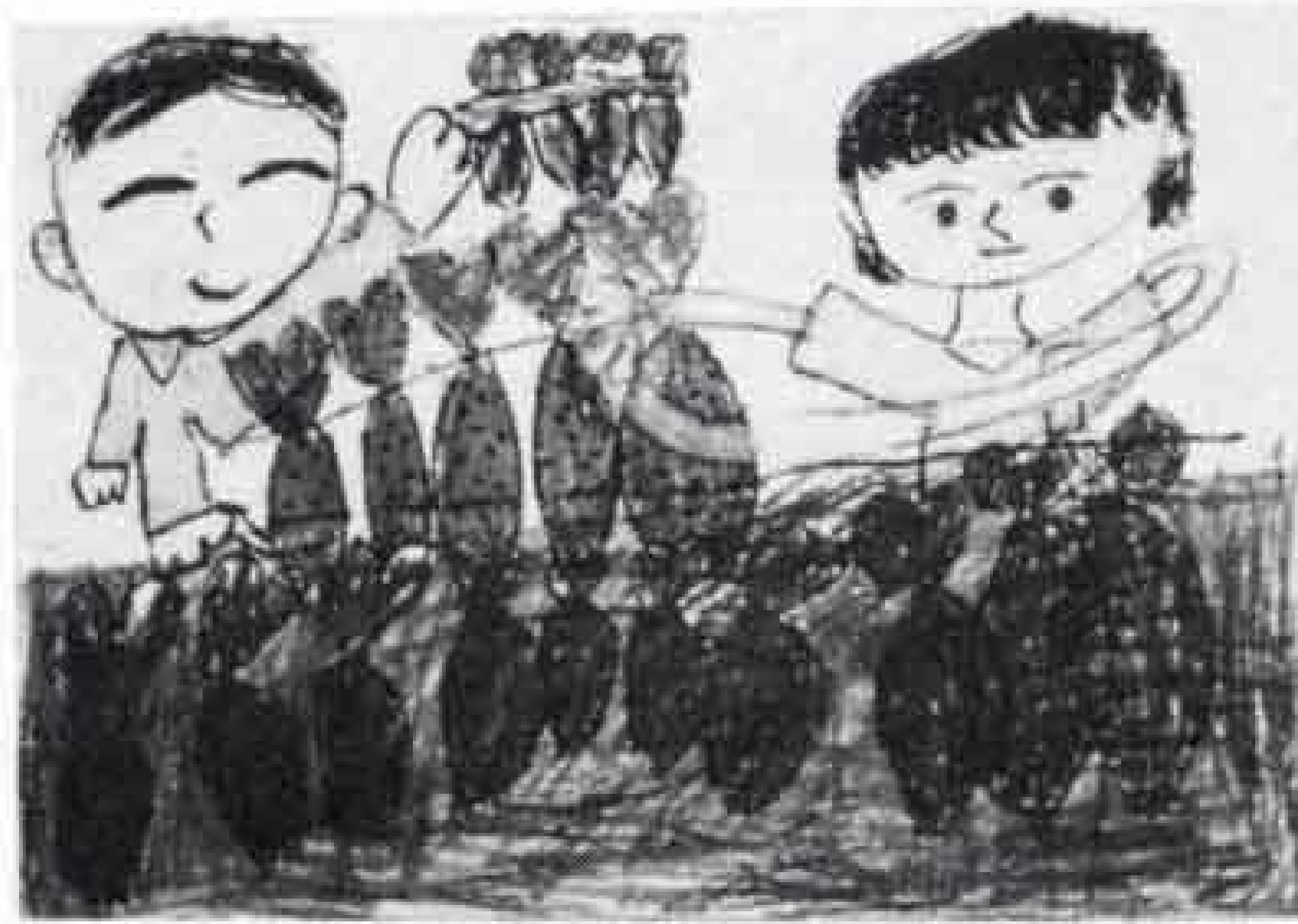


「六ツ眼鏡」と呼ばれていた昭和八年の石水門です。近くにお

住まいの沢村弥与さん(鈴川)のお話。「その当時水門の周りには野天の火葬場以外なにもなくて、夜は大人でも怖い場所だった。昼間はコイヤズガニをとって、けっこう遊んだけどね。台風ときは大波がドンドンと水門にぶつかって、すごい水しぶきが上ったけど、びくともしなかった。港ができるとき壊されたけど、少し寂しいね」



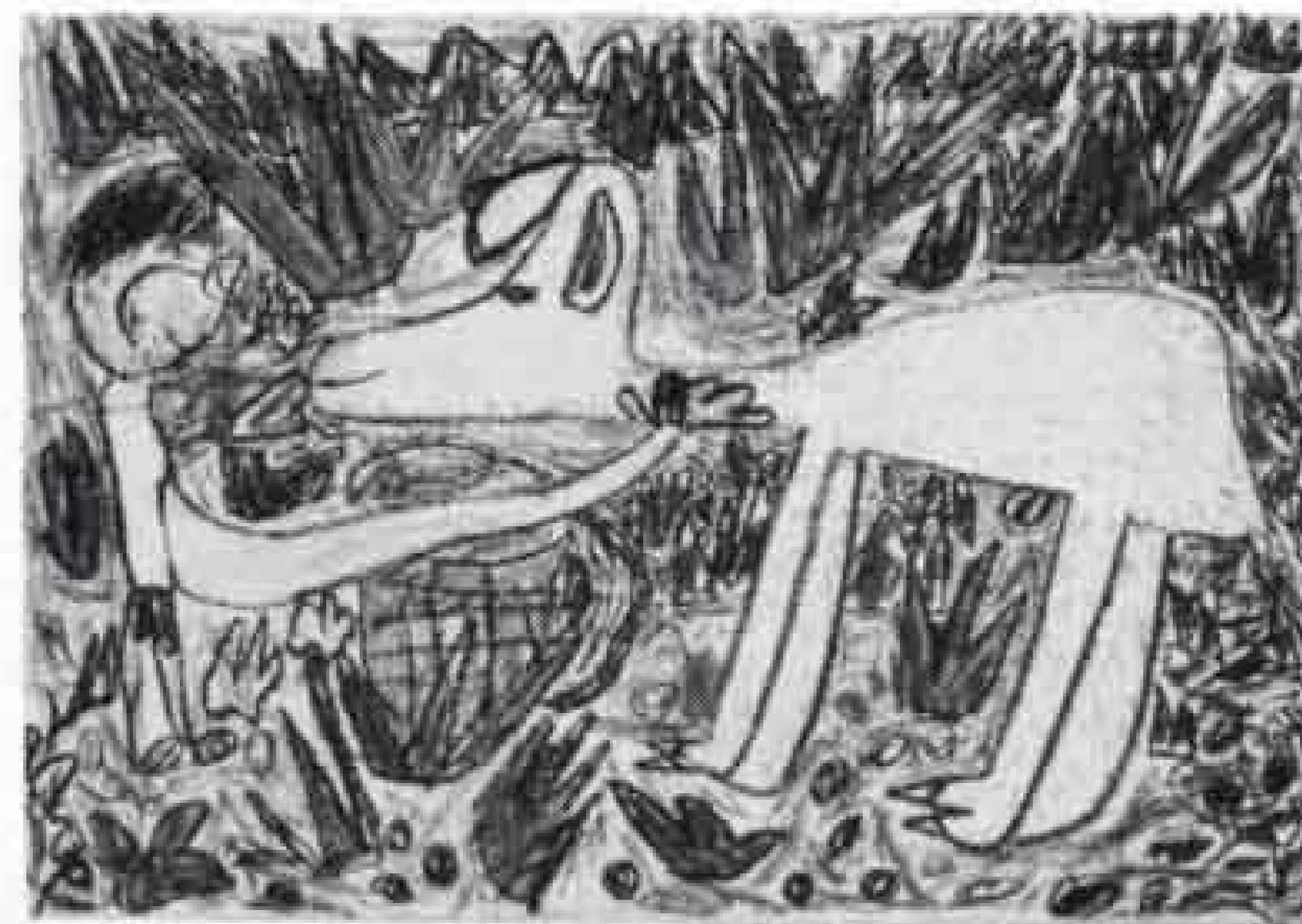
大淵第二小学校
はみどりの活動で
サツマイモやキビ
をつくっています。
ヤギのメリーさん
の世話もみんな
です。



みんなでもほりに行ったら、土の中にたくさんのおいもがありました。手でいっしょうけんめいほりました。まっかなさつまで、とてもきれいだっただよ。



わたなべゆかり



ヤギのメリーにえさをやりました。さつまのつるがとでもすきです。手であげるとおいしうに、にこにこしてたべます。たべるおとも、とてもおいしそうです。



わたなべみゆき